

NOVASTACK®-B

Part No. Plug:20712-004E-0* Receptacle: 20713-004E-0*

Instruction Manual

1	S23197	August 21, 2023	W. Lau	Y. Baba	Y. Hashimoto
0	S16550	August 22, 2016	H.Ikari		Y.Shimada
Rev.	ECN	Date	Prepared by	Checked by	Approved by

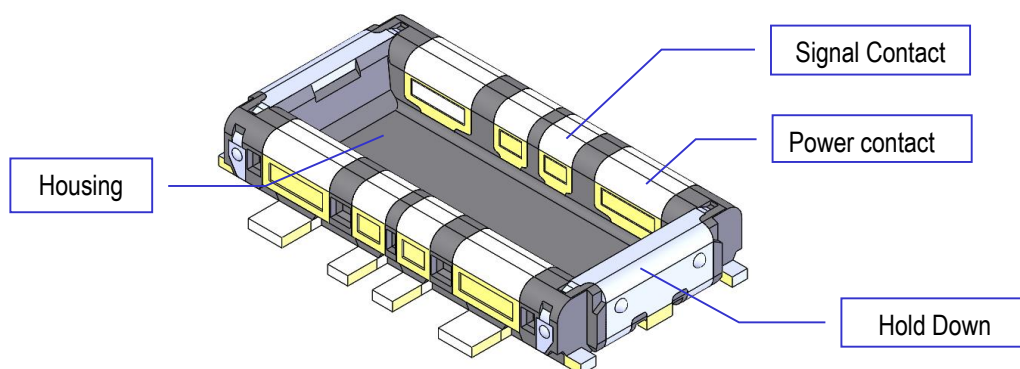
弊社製コネクタ NOVASTACK-B を安全に御使用頂く事を目的とし、コネクタの挿入・抜去の手順及び注意点を記述致します。

1. 対象コネクタ名称 型番・部品名

1-1. Plug connector

名称：NOVASTACK-B Plug Ass'y

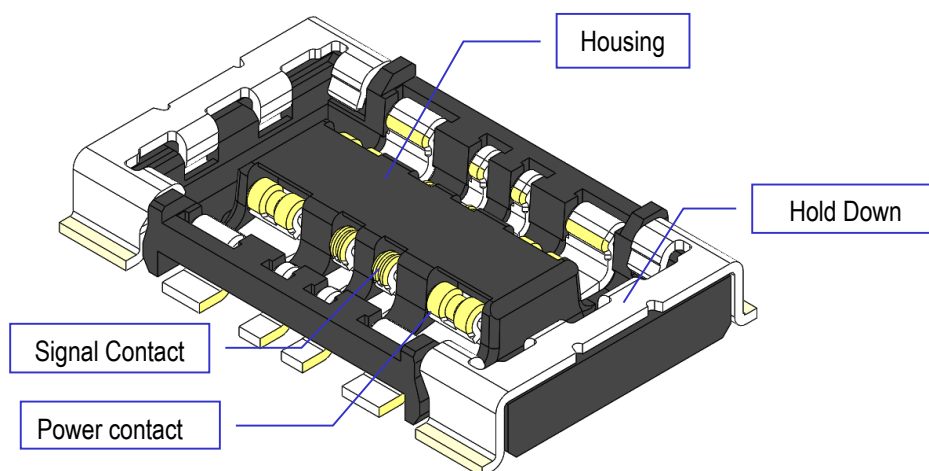
型番：20712-004E-0*



1-2. Receptacle connector

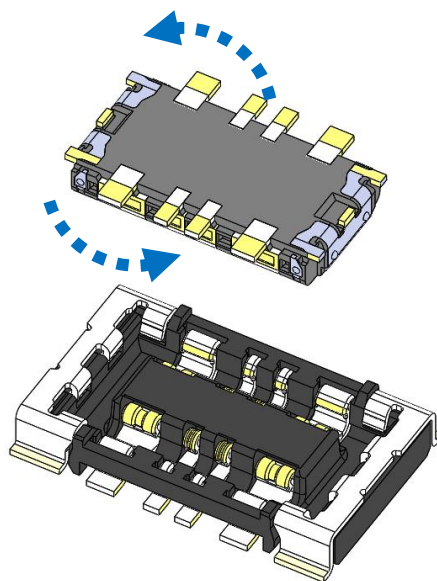
名称：NOVASTACK-B Receptacle Ass'y

型番：20713-004E-0*



1-3. コネクタの方向性に関して

Plug Ass'y 及び Receptacle Ass'y 共に方向性はなく、どちらの方向に嵌合しても性能への影響はありません。

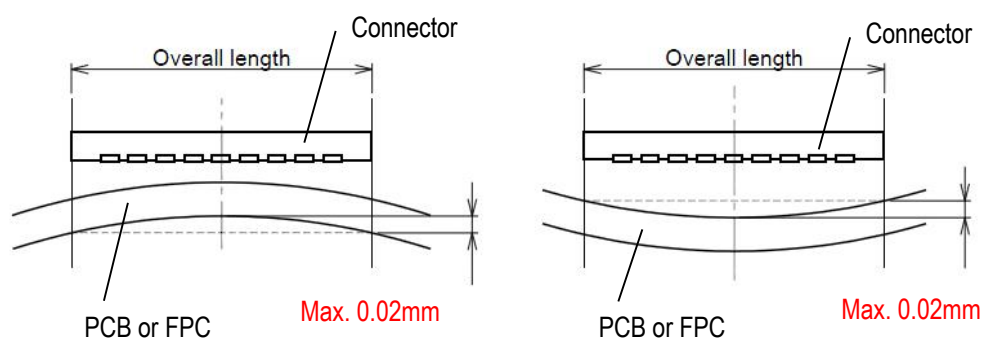


2. 実装に関して

2-1. 弊社推奨パターン寸法は弊社製品図面をご参照ください。

2-2. 基板・FPC の反り

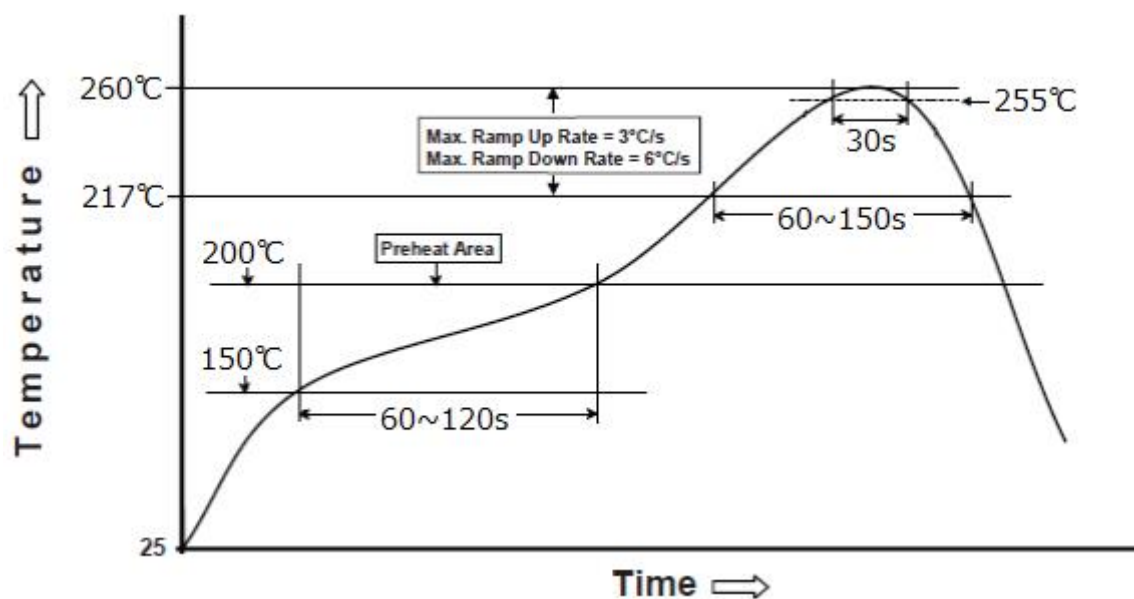
コネクタの全長に対して、基板・FPC の反りを 0.02mm 以下にしてください。



2-3. リフロー温度プロファイル

耐熱リフロー温度プロファイルは下記になります。（温度はコネクタ端子部付近のプリント基板表面温度）

※推奨リフロー温度プロファイルにつきましては、弊社製品図面をご参照ください。

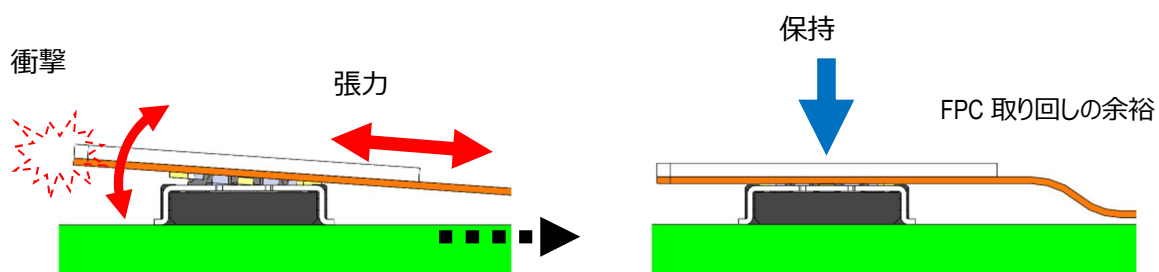


Graph 1. 耐熱リフロー温度プロファイル

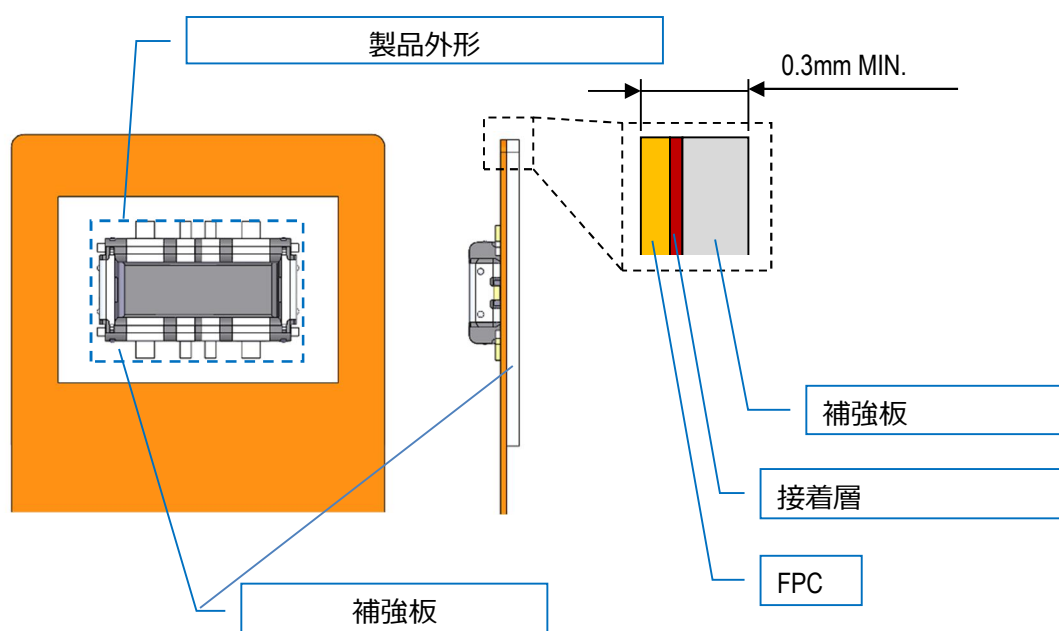
3. 取扱い上の注意

3-1. 基板-FPC での使用の場合

- ① FPC の取り回しによる張力や落下等の衝撃によるコネクタへの負荷に対して、取り回しに余裕を持たせて頂く事に加え、嵌合方向へ押さえつけて保持をお願い致します。



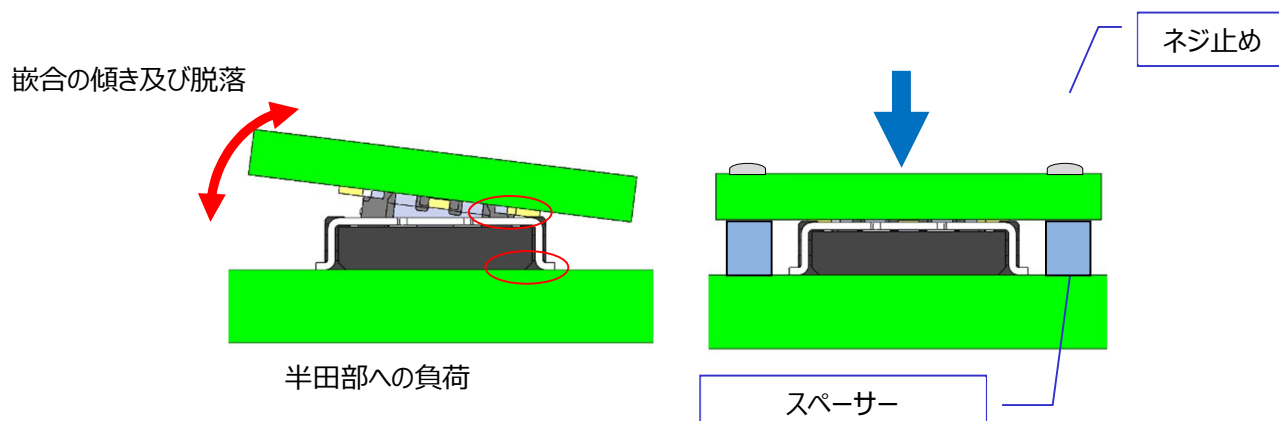
- ② 挿抜する際の FPC 側コネクタへの負荷による破損を防止する為、FPC の裏面に補強板を取り付けた状態で使用して下さい。補強板のサイズに関しては製品外形(パターンの含む)より大きく、厚さは FPC+補強板で 0.3 mm 以上を推奨します。



3-2. 基板-基板での使用の場合

① 使用される嵌合基板のサイズ・形状によってはコネクタ及びコネクタ半田部への直接負荷による破損若しくは、振動・衝撃等による嵌合の傾き及び脱落が発生する可能性があります。

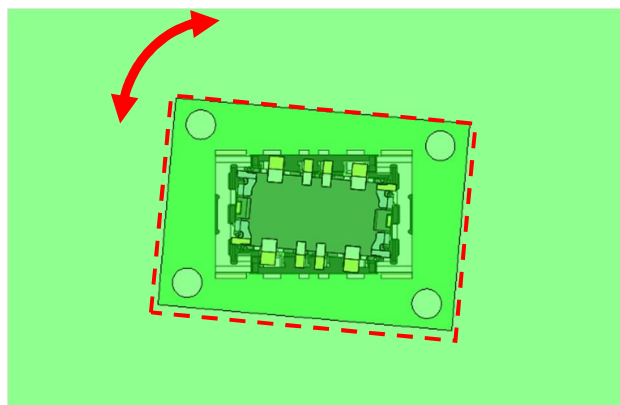
コネクタ破損及び嵌合傾き、脱落を防止する為に、スペーサー等を使用した基板間固定を推奨します。



② 基板をネジ止めにより固定する場合は、コネクタを回転させない様、ご注意ください。

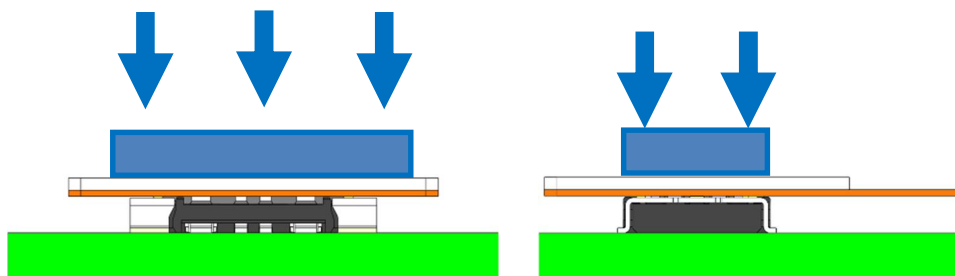
回転させた状態で固定された場合、コネクタを破損させる可能性があります。

コネクタの回転



3-3. コネクタ抜け止め荷重

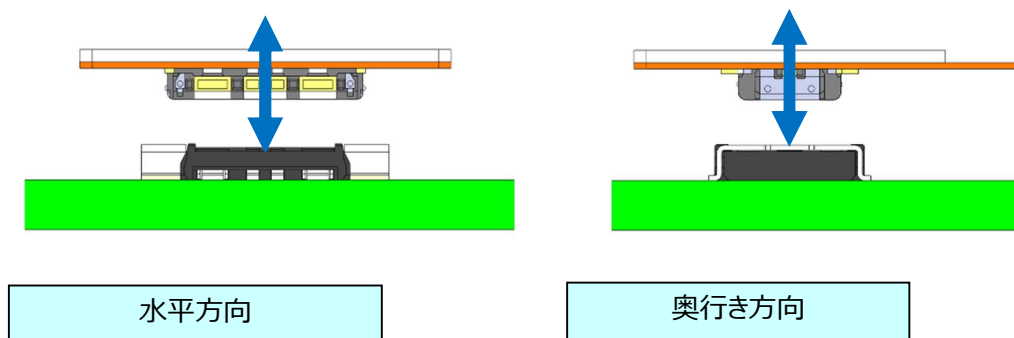
嵌合状態のコネクタ抜け止め荷重(筐体で押さえる荷重)につきましては、下記条件でコネクタ上面全体を押さえる様にして下さい。
(抜け止め荷重：20.0N 以下)



4. 挿抜方法

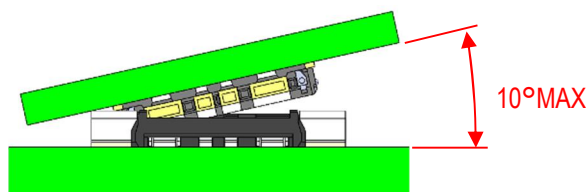
挿抜はコネクタに対して水平に行ってください。

過度なこじり及び回転を加えた挿抜はコネクタ破損の要因となりますので、行わないで下さい。



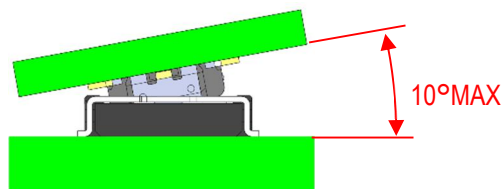
※注意 1

挿入時の水平方向のこじり角度は、10°以下をお願い致します。
10°以上での挿入は、コネクタ変形の原因となります。



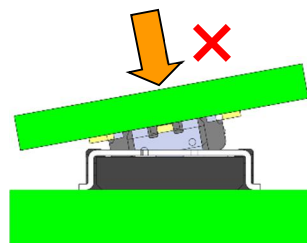
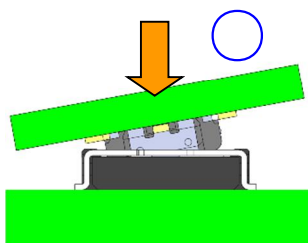
※注意 2

挿入開始時の奥行き方向のこじり角度は、10°以下でお願いします。
10°以上での挿入は、コネクタ変形の原因となります。



※注意 3

斜めに挿入された場合でも、上面より真直ぐに押せば、コネクタのガイド機能により姿勢が安定致します。
斜め方向からの無理な挿入は行わないで下さい。



※注意 4

回転を加えた状態での挿抜は行わないで下さい。

コネクタの回転

